

94年11月南米日食最新の報告書

編集部

昨年11月の南米日食の報告書が、早くも発行されました。日食情報編集部で入手したものをお知らせします。

★ エルドラドのコロナ

日食情報1994年4号に執筆いただいた上原敏明さんが参加された、ペルー、タクナの日食ツアー報告書です。

4ページのカラーグラビアをはじめとして、概要、観測記、観望記、資料と続きますが、この報告書の中心はやはり「観望記」でしょう。日食を見た感動がそれぞれの文章から伝わってきます。中でも秋元理恵子さんの「ニセ科学者はクラウド・バスターの夢を見るか？」は手書きの文字と絵が何ともいえない味を出しています。一目でわかる似顔絵も、知っている人にはなかなか楽しめます。

それにしても、日食終了後1カ月半でこのような冊子を仕上げるというのは、生半可な集中力ではありません。他のツアー・観測隊も、これに触発されて立派な報告書を作ってほしいものです。

B5判、130ページ (カラーグラビア4ページ、モノクログラビア2ページ)

1冊 1500円

問い合わせは；

森 友和さんまで

★ 黒い太陽を求めて —ブラジル皆既日食紀行—

こちらはブラジルのクリシウマで観測された、長野市の池田 貢さん・秀昭さんの個人(?)記録集です。ハワイで涙を飲んだお二人が、準備を重ねつつ見事に観測成功を勝ち取るまでが生き生きと描かれています。

報告書を作らないツアーに参加された方は、池田さんのように個人的にでも記録をまとめられるといいのではないのでしょうか。きっと素晴らしい記録になるはずです。

B5判、22ページ

報告書を作られた場合、皆さんにご紹介したいと思いますので、ぜひ日食情報センターまでお知らせ下さい。